

令和6年12月23日

各位

西京高等学校附属中学校
校長 岩佐 峰之

公開授業のご案内（二次案内）

西京高等学校附属中学校では、全ての教育活動の基本は「授業」であるということを全教職員が強く認識し、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）をはじめとしICTの積極的な活用を通して「自ら学ぶ力」の育成するため、徹底した授業改善を行っています。

今年度、一人一台のタブレットや短焦点プロジェクター型電子黒板などICTを活用した先進的な授業を展開しています。インタラクティブな学習環境を確保し、「ICT×授業改善」をテーマとして研究を進めています。生徒の主体的な学びを促進し、学習意欲の向上に繋がっていると感じています。

公開授業および意見交流会を行います。お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

1、日時 令和7年2月21日（金）13時20分～16時（受付 13時～）

2、場所 西京高等学校附属中学校

〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町1

TEL (075)841-0010 E-mail saikyofuzoku-c@edu.city.kyoto.jp

3、タイムテーブル

13:00-	13:20-14:10	14:20-15:10	15:20-16:00
受付	公開授業①	公開授業②	意見交流会

4、公開授業について

公開する授業の概要

- ・家庭学習での取組を活用した導入や、授業中の生徒のペンストロックを取り入れた授業展開、マーカーの活用など、LEAFシステムを用いて教育データを利活用した授業実践
- ・ホワイトボードに新たな生徒の学びの場を創出するなど、短焦点プロジェクター型電子黒板を活用した生徒主体の授業実践
- ・アプリを活用した個別最適な学び（自由進度学習）を取り入れた授業実践

5、意見交流会について

普段の学びの様子や授業のあり方、ICTの活用などについて、授業者と参観者と生徒の三者で意見交流を行いたいと考えています。

6、参加申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/4EwFkDxpzd>

※エントリーは随時受け付けております。お気軽にお申込みください。

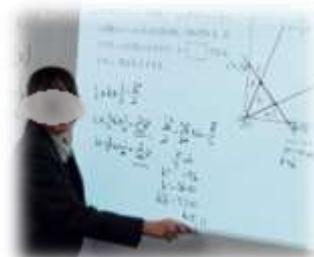


7. 時間割

	I A	I B	I C	2 A	2 B	2 C	3 A	3 B	3 C
5 限 公開授業①	英語 金子		理科 藤谷	数学 新井			国語 慶徳		英語 芳賀
6 限 公開授業②		英語 有田	数学 松永	社会 久保田	英語 山中	数学 細田		英語 松井	
7 限 意見交流会			交流①		交流②			交流③	

8. 来校上の注意

- ・本校は二足制です。上履きと靴袋をご持参ください。
- ・校内に駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。
- ・参加費は無料です。



アプリ「DeepL」を用いた英作文のブラッシュアップ@5限 IA 英語

プレゼンテーションに向け、発表原稿を英語で作成します。この自分で作った英作文を DeepL で繰り返し添削することで、形にしていきます。自分自身の英語力に合わない表現やプレゼンテーションに適さない表現など、改善工夫が求められますが、後日 A L T と個別に相談する時間を設けて、よりよいものに仕上げていきます。<個別最適な学び>

アプリ「Penny」で毎日スキルアップ@6限 2B 英語

毎日異なる質問をしてくる Penny に対して、英語で返答します。好きな映画は何ですか？昨日は何を食べましたか？入力した英文に対して、Penny が「西京が求める英語」に沿った改善の支援をしてくれます。やり取りが可能で、日々成長を実感することができます。

また、発表練習の場面では、Teams のプレゼン機能を用いて自己評価を行います。<教育データの活用><個別最適な学び>

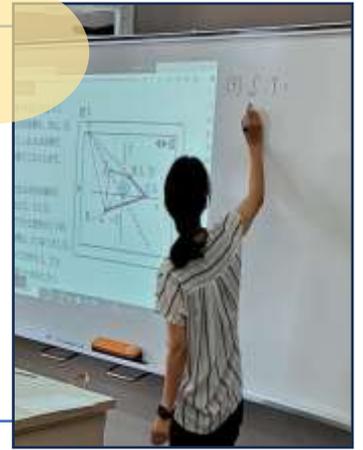


多様な学びに対応した授業@6限 IC 数学

LEAF システムを用いて家庭での学びを授業につなげます。家庭での学習におけるペンストロークを分析し、思考の過程を利用した授業展開を行います。また、課題に対して個々で取り組んだり仲間と取り組んだり、タブレットやノート、ホワイトボードなど様々な場で学びを進めたり、多様な学びに対応した授業を展開し、生徒が主体的に学ぶ「学ぶ授業」を実現します。<教育データの活用><電子黒板の活用>

「AI先生」が生徒の学びを支援する@6限 2C 数学

個々でつまづく場所が異なります。多くの人がつまづく場所もあります。先生や友達に聞くのではなく、タブレット上の「AI先生」に聞くことで、つまづきを乗り越え課題を解決していきます。演習の時間が、課題にかかる時間が生徒によって異なる自由進度学習の形になります。AI先生の活用とともに、質問がしにくい生徒には教師が寄り添って支援することで個別最適な学びを実現します。<教育データの活用><個別最適な学び>

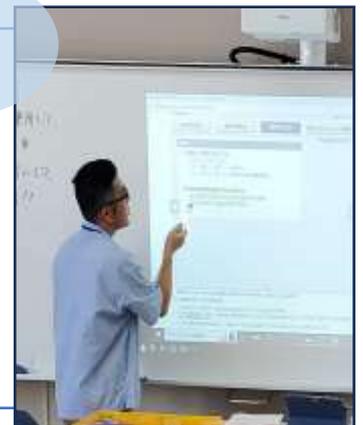


マーカーを活用した思考の見える化@6限 IB 英語

生徒が BookRoll 上にひいたマーカーを集約して授業で活用します。生徒が分からないところや着目しているところが可視化されます。本授業では、この機能を用いて長文読解をより効果的に指導します。また、ロイロノートで情報を共有することで学びを活性化していきます。<教育データの活用><電子黒板の活用>

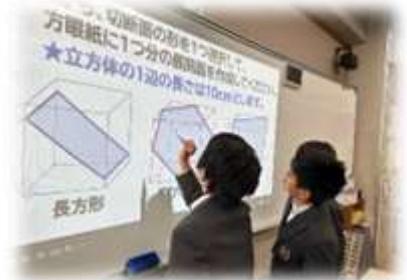
授業中のペンストロークを活かした実践@5限 2A 数学

二次関数の応用問題で、生徒の思考過程をペンストロークから分析します。生徒は Bookroll に配信されたPDFにタブレット上で直接デジタルペンにより解答を書き込みます。この入力を、教師が手元のタブレットの分析ツールで集約・判断し指導に役立てます。また、生徒自身がストロークを自己評価・説明しながら、自分の考え方を説明します。<教育データの活用><電子黒板の活用>



ロイロノートを用いた情報共有@5限 IC 理科

発展的な課題に取り組むときに、個人で考えたことを全体で共有できるように説明します。それをもとに、個人またはグループで考えを深め、課題について自分の言葉で説明できるように、人の考えを参考にしながら、自分の考えを深める家庭を繰り返していき、課題に対して自分の言葉でまとめられるようになります。<電子黒板の活用>



ロイロノートを活用した授業実践@ 5 限 3B 英語

ロイロノートの生徒間通信の機能を使って、自分たちの意見をクラスの生徒に送り、反対意見を書いてもらうやり取りを通して、ディベートで述べる意見をブラッシュアップする。<電子黒板の活用>

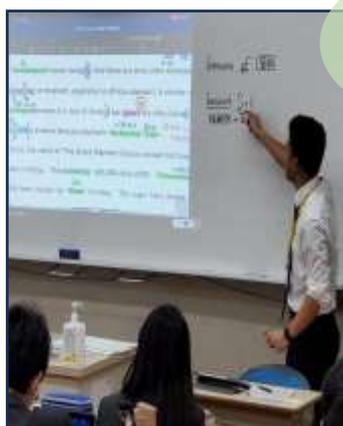
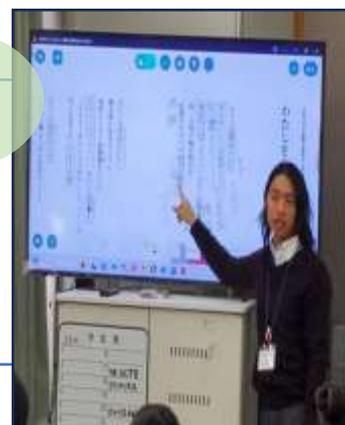


電子黒板を真ん中に据えた授業@ 5 限 2C 社会

近代史について、グループで話し合った内容を Teams で配信したスライドにまとめ共有します。また、パワーポイントの共有機能を用いて、生徒の入力をリアルタイムに電子黒板に投影することで、授業がアクティブに進行します。<電子黒板の活用>

リアルタイムフィードバックの授業@ 5 限 3A 国語

3年間の学びを振り返ったアンソロジーを作成し、その発表会を行う。発表者に対してリアルタイムでコメントを残し、それを発表者が拾うことでインタラクティブな場を作る。<電子黒板の活用><個別最適な学び>



LEAF システムを利用した英文読解練習@ 6 限 3C

中高一貫教育の一環として、高校教員が中学生に対して英文の読解方法を指導しています。生徒が BookRoll 上にひいたマーカーをもとに、LEAF システムがグループを編成します。授業では長文読解をしたあとのポスト活動として、要約作成やリテリング等のアウトプット活動を行います。<教育データの活用><電子黒板の活用>

意見交流会（各教室）

6 限終了後、生徒が下校します。その後、教室にて、授業者と参観者と数名の生徒の三者で意見交流会を行います。参観者の方からの質問に授業者も生徒も率直に答えていきたいと思ひます。

また、**授業の感想や普段の様子などお気づきの点について、ざっくばらんに意見交流ができれば**と考えています。6 限参観後は、ぜひ意見交流会のほうにもご参加ください。

※意見交流会を実施する教室は、参加者の人数によって 3～5 クラスを想定しています。